

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院の血栓回収症例におけるHyperdense vessel signを基にした予後予測

2. 研究の対象患者

当院で2023年9月～2025年8月までに血栓回収療法を実施した方で、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

(1) 選択基準

Hyperdense vessel sign(HVS)の基準

・ 頭蓋内血管のCT値が55以上かつ対側血管のCT値が50を超えないもの

※脳神経外科・脳神経内科専攻医以上がHVSの記載をしている症例はこの限りではありません

(2) 除外基準

以下のいずれかに抵触する方は本研究に組み入れません

1) 血栓回収施行前に当院でCT撮影がされていない症例

2) 別疾患で入院中に脳梗塞を発症し血栓回収を行った症例

3) 入院時NIHSS不明の症例

3. 研究の対象期間

2023年9月～2025年8月

4. 研究の概要

Hyperdense vessel sign(HVS)は脳梗塞発症時期を問わず確認されるCT所見であり、血栓回収を行う1つの指標となる。M1閉塞患者を対象とした後ろ向きコホート研究では、Hyperdense middle cerebral artery sign(HMCAS)が認められない患者は、認められる患者に比べて90日後の機能予後が有意に不良であることが示されている。また、HMCAS陽性例は再開通率が高く、3か月および1年後の良好な機能予後や死亡率低下と関連することが多施設コホートで示されている。そこで、当院で血栓回収を行った症例で、HVSの有無が予後にどのように影響するかを比較検討する。

5. 研究実施予定期間

2026年5月13日～2026年8月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：年齢、病前機能指標modified Rankin Scale (mRS)、退院時mRS、National Institutes of Health Stroke Scale(NIHSS)、DWI(diffusion weighted image)-ASPECTS(Alberta Stroke Program Early CT. Score)、再開通率(Thrombolysis in Cerebral Infarction:TICI)、rt-PA(アルテプラゼ)投与の有無

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後ろ向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究対象者(又は代諾者)個々に結果説明することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 脳神経外科 喜古一成

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)